

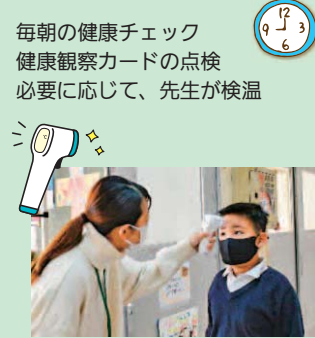
感染症対策を学び実践する学校園生活

新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が出される中、堺市立学校園では、子どもたちの健やかな成長のため、感染症対策を徹底しながら教育活動に取り組んでいます。豊かな心と総合的な学力の育成に継続して取り組むとともに、子どもたちが不安やストレスに負けずコロナ禍を乗り越えられるよう支援しています。子どもたちが学校園生活の中で感染症対策を学び、実践する様子をご紹介します。園保健給食課(☎228-7489 FAX228-7256)



登下校

自宅を出る時から帰宅するまでマスクを着用



毎朝の健康チェック
健康観察カードの点検
必要に応じて、先生が検温



授業中



教室では窓を開けて換気



密にならないよう距離を確保
合唱やリコーダーは控え、感染リスクを低減



偏見や差別・いじめを許さず、思いやりの心を持つことを学習



休み時間にこまめに手洗い

給食

前を向き会話を控えて食事



～放課後～

手洗い場の石けんを先生が補充
大勢がよく触れる場所は、1日1回以上の清掃・消毒



本市で「新型コロナウイルス対策本部会議」を立ち上げてから1年が経過しました。窮屈な日常が長期間にわたる中、ご理解とご協力をいただきまして本当にありがとうございます。また、医療や介護従事者をはじめ、日夜懸命にご対応いただいているすべての方に心より感謝いたします。

1月13日には大阪府に緊急事態宣言が出されました。堺市内の状況は、感染爆発には至っていませんが依然として多くの新規陽性者が発生しています。何としてもここで感染拡大をくい止めなければなりません。ご自身や大切な人々を守り、医療と地域経済の崩壊を防ぐためにも、皆様の引き続きのご協力が必要です。

緊急事態宣言下では、感染の機会を減らすための対応が要請されていますが、感染予防の基本は変わっていません。唾(つば)や飛沫が発生する環境での感染リスクが高いことから、「会話や発声の際

のマスク着用の徹底」、「手洗いや手指の消毒」への強い意識をお願いします。行政も市民の皆様の命を守り、暮らしを支えるために最善を尽くします。

そして今、堺市では子どもたちへの教育環境の充実に力を入れています。今月号でご紹介の1人1台パソコン導入をはじめ、1対1のオンライン英会話など新たな取り組みを進めています。「未来を切り拓き、個々の幸せを実現する堺の教育」を理念に掲げる「次期教育大綱」の策定も進めています。堺市の財政は大変厳しい状況ですが、危機を乗り越えて、夢と希望ある堺のために全身全霊を注ぎます。



堺市長
永藤 英機